

2025 年 12 月 11 日

## 「CDP 気候変動」において最高評価の「A リスト」企業に選定

BIPROGY グループは、国際的な環境情報開示を推進する非営利団体 CDP が実施する 2025 年度の気候変動調査において、最高評価である「A リスト」企業に選定されました。今回の選定は、BIPROGY グループの気候変動への取り組みが高く評価されたものです。



### 【BIPROGY グループの気候変動に関する取り組みについて】

BIPROGY グループは、環境・社会および当社グループのサステナビリティを追求し、Purpose で掲げた「先見性と洞察力でテクノロジーの持つ可能性を引き出し、持続可能な社会を創出します」を実現するため、マテリアリティを定めています。5つのマテリアリティのうち、「ゼロエミッション社会の実現に向けた、デジタルを活用した環境貢献と事業活動にともなう環境負荷の低減」と「バリューチェーン全体で取り組む、安心・安全な製品・サービスの持続可能な調達と提供」の2つのマテリアリティの推進に向け、温室効果ガス排出量（Scope1,2,3 排出量）の削減目標を設定し、達成に向けて取り組みを着実に進めています。

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同や RE100 への加盟をはじめ、国内外の各種パートナーシップやイニシアチブに積極的に参加しています。2024 年度には温室効果ガス排出量削減目標において、SBT（Science Based Targets）認定を取得、2025 年度には削減行動の加速を図るため、気候変動移行計画を策定しました。また、再生可能エネルギー由来の電力調達をさらに進めています。

今後も BIPROGY グループは、事業を通じた環境貢献による企業価値向上への取り組みを加速していきます。

### 【CDP について】

CDP は、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体です。世界で約 25,000 社、日本国内では約 2,200 社が、CDP の質問書に回答しています。CDP の調査対象は、気候変動をはじめ、森林、水セキュリティに加え、プラスチックや生物多様性などの領域も含まれ、企業は、包括的な開示が求められています。CDP は、企業が気候変動リスクと機会を戦略に組み込み、投資家や取引先に対して透明性を確保するための重要な指標となっており、投資や調

達的意思決定を推進するために利用されています。「A リスト」企業は、気候変動対応において世界的に高い評価を受けています。

以 上

#### ■ 関連リンク

- ・ CDP  
<https://www.cdp.net/ja>
- ・ BIPROGY グループのサステナビリティ  
<https://www.biprogy.com/sustainability/>
- ・ BIPROGY グループのマテリアリティ  
<https://biprogy.disclosure.site/ja/themes/95>
- ・ BIPROGY グループ Vision2030・経営方針(2024-2026)  
[https://www.biprogy.com/com/management\\_policy.html](https://www.biprogy.com/com/management_policy.html)

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.biprogy.com/newsrelease\\_contact/](https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/)

**Vision2030**

わたしたちは、デジタルコモンズを  
誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

私たちは志や共感をベースに持続可能な社会の実現を可能にするために、  
さまざまなサービスやノウハウをデジタルの力でつなぎ合わせ、  
社会の共有財であるデジタルコモンズとして創造し、提供していきたいと考えています。  
その実現に向けて、ビジネスエコシステムのパートナーと共に  
多様な業界、業種、マーケットの視点から社会に貢献することにより、新たな価値やマーケットの創出につなげていきます。